【家族支援】

・子どもの発達上の課題についての気づきを促し、家庭と連携してその後の支援に生かします。

・保護者様にペアレントトレーニングを開催したり、親の会を定期的に開催しています。

・個別の相談を随時実施しています。

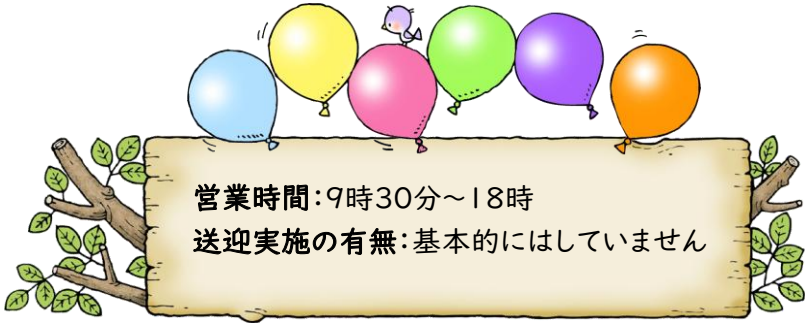
【移行支援】

・就学に向けての情報提供や支援を行います。

・具体的な移行を想定した療育活動を行います。

【地域支援・地域連携】

・幼稚園、保育所、福祉サービス等と連絡を取り、情報共有していきます。



営業時間：9時30分～18時

送迎実施の有無：基本的にはしていません

【職員の質の向上】

・日々のミィーテイング、ケース会議を実施します

・各種員会（虐待、防災、感染など）の発足、実施します

・所内研修を実施します

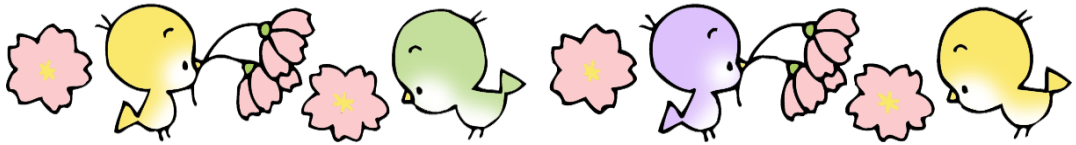
・外部研修の積極的な参加を促します

児童発達支援　集団

【本人支援】

	うさぎ（年少）くらす	ぱんだ(年中）くらす	ぞう（年少）くらす
健康 生活	・衣服の着脱、手洗いうがい、来所・降所準備（かばんからタオルなどを出す）等の基本的生活動作を習得できるような取り組みをします。 ・手洗いをする習慣が身につくよう、イラスト等を使用して清潔にすることの必要性を伝えます。	・衣服の着脱や、手洗いうがい、持ち物整理、身支度等の基本的生活動作を習得できるような取り組みをします。 ・清潔にするという意味を知り、手洗いやうがい、汚れたら着替える、机の汚れを拭く等を自分から行動できるように支援員が声をかけて習得できるようにします。	・就学に向けて自分で身だしなみを整えたり、物の準備、片付けなどができたりする集団生活に必要なスキルの習得を目指します。 ・気温の変化に合わせた衣服の調整や汗を拭く、清潔にする意味を知り、汚れた所に自ら気がついて拭くなどの行動ができるような取り組みをします。
運動 感覚	・手先の操作の巧緻性を高めるために、個別課題の中で手先を使う課題を提供し、制作遊びなどで道具の使い方を個々に合わせて取り組んでいきます。 ・さまざまな体の使い方やバランス感覚などが身につくよう、体操や大型遊具を使った運動遊びを提供します。	・手先の操作の巧緻性を高めるために、個別課題の中で手先を使う課題を提供し、制作遊びなどで道具の使い方を個々に合わせて取り組んでいきます。 ・さまざまな体の使い方やバランス感覚などが身につくよう、体操や大型遊具を使った運動遊びを提供します。	・道具（箸やえんぴつ、はさみなど）の扱いを習得するために指先を使った課題を提供をする、制作遊びなどを通して、取り組んでいきます。 ・体の使い方、バランス感覚、集中力などが身につくよう、体操や大型遊具を使った運動遊びを提供します。
認知 行動	・数量や大小、色などの簡単な概念を習得できるよう、数を数えながらおやつを入れる等の機会を作り、楽しみながらさまざまな概念に触れられるよう取り組んでいきます。 ・自己選択ができるよう、活動の中で写真カード等を使用しながら、選択肢の中から自分でしたいことを決める機会を作ります。	・大小、色、数量、時間の流れ等様々な概念を知るために、課題の中で教材を提供し取り組んでいきます。また、実際の状況を通して知る機会を作っていきます。 ・集団生活での適切な行動を知るためにSSTカードや人形を使って身近な例題を出して適切な行動を知らせる機会を作ります。	・天気、日時、曜日の把握や時間、気温、季節などに興味をもてるように日々の活動の中で話をしていきます。 ・就学に向けてのイメージがもてるように、絵本や写真を見て小学校の話を聞いたり、小学校で使うものなどを知り、実際に使う練習の機会をもちます。
言語 コミュニケーション	・困った時や要求がある時に相手に伝えることができるよう、相手に伝わる伝え方を知らせ、小集団の中でまずは支援員に伝えられるように取り組んでいきます。 ・絵カード等を使用して名詞や動詞などの語彙数が増えるような活動を行い、楽しみながら言葉に触れられる機会を作ります。	・要求や困りごとを言葉で伝えることができるように、支援員が伝え方の見本を見せて真似て伝えるなど、小集団の中で取り組んでいきます。 ・簡単な指示を口頭で聞く、絵カードを見ることで活動を理解し、自分から活動に参加できるように取り組んでいきます。	・相手に自分の思いを言葉で表現できるようになるために、支援員が代弁したり、言葉をつないで文章化して伝わる言い方を知らせていきます。 ・今日の出来事や今の気分・気持ちなどを気軽に話せるコミュニケーションをはかる環境を設定します。言語表出につながるために言葉遊びやしりとり遊びなどを取り入れていきます。
人間関係 社会性	・安心できる環境の中で、できたことをほめられる経験を積むことで、身近な支援員と安定した関係性を築けるような取り組みをします。 ・少しずつお友達に意識が向き一緒に遊ぶ経験ができるよう、支援員が間に入り、関わりが持てるような機会を作ります。	・自分から活動に参加できるように、事前にスケジュールを伝えておく、安心して遊べる環境を整える、興味や関心のある活動を工夫して提供していきます。 ・活動や遊びの中で、写真やカードを貼って掲示して順番や交代を知らせ、簡単なルールを知り、ルールを守って行動できるように取り組みます。	・集団行動のルールを守って遊ぶために、事前に説明を聞いて、プレイルーム遊びの中で実践していきます。 ・大人の指示がなくても自らスケジュールを確認したり、次の行動ができたりするようになるために、間接的声掛けから見守りに支援を減らし、自立に向けて取り組んでいきます。

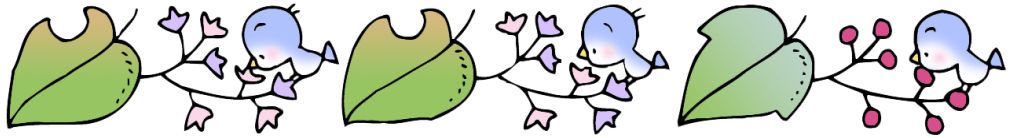
児童発達支援　個別



【本人支援】

	すみれくらす（2･3歳）	ばらくらす（4･5歳）	さくらくらす（就学前）
健康 生活	･衣服の着脱や道具を使った食事、手洗い、来所･降所準備（かばんからタオルなどを出す）等の基本的生活動作に取り組んでいきます。 ･座る、道具を使うなど簡単な食事のマナーを知るために、おやつやお弁当を食べる機会を作ります。	･衣服の着脱や道具を使っての食事、身支度などの基本的生活動作を習得できるように取り組んでいきます。 ･手洗い、うがいの習慣が身につくよう、清潔にすることの大切さについて伝えながら、定着を目指します。	･就学に向けて自分で身だしなみを整える、物の準備や片付けをする、ハンカチで手を拭く等の、集団生活に必要なスキルの習得を目指します。 ･手洗いうがいをする、汗をかいたら拭く、机が汚れたら拭く等の習慣が身につくよう、清潔にすることの必要性を伝え、練習の機会を作ります。
運動 感覚	･手先の操作の巧緻性を高めるために、個別課題の中で手先を使う課題を個々の発達に合わせて提供します。 ･視覚、聴覚、触覚等の感覚を十分に活用できるようスライムや粘土などの感覚遊びや外遊び、水遊びなどの活動を提供します。	･個別課題の中で手先を使う微細運動の課題を、手先の操作の巧緻性が高まるよう取り組みます。また、はさみやスプーンフォーク･箸などの道具を正しく使えるよう、制作遊びなどの活動を提供していきます。 ･さまざまな感覚を十分に活用できるよう、スライムや粘土などの感覚遊びや外遊び、水遊びなどを取り入れます。	･個別課題の中で手先を使う微細運動の課題を、個々の発達に合わせて提供し、手先の操作の巧緻性が高まるよう取り組みます。また、はさみや鉛筆、箸などの道具を正しく使う取り組みをします。 ･就学に向けて椅子に座って取り組むことに慣れるよう、個別課題の時間を20分程度設定して取り組みます。
認知 行動	･言葉の理解が広がるよう、物や行動に言葉を添えて伝えていきます。課題の中で実物→実物、実物→絵カード、絵カード→絵カードのマッチングを段階的に取り入れます。 ･自己選択ができるよう、活動の中で写真カード等を使用しながら、選択肢の中から自分でしたいことを決める機会を作ります。	･自己選択ができるよう、活動の中で写真カード等を使用しながら、選択肢の中から自分でしたいことを決める機会を作ります。 ･数量や大小などの簡単な概念を習得できるよう、数を数えながらおやつを入れる等の機会を作り、楽しみながらさまざまな概念に触れられるよう取り組みます。	･就学に向けて小学校のイメージを持てるように、絵本等を使用して小学校とはどんな所なのかの話をしたり、小学校で使うものを知り実際に使ったりする機会を作ります。また年度の後半には小学校のスケジュールや休み時間の過ごし方など、より具体的なイメージを持てるよう、「学校ごっこ」を行います。
言語 コミュニケーション	･絵カードやジェスチャー等を使用し、相手の顔を見て要求を伝える経験ができるように取り組みます。また、具体的な要求を伝えるために、指さしをして要求を出せる取り組みをします。	･困った時や要求がある時に相手に伝えることができるよう、相手に伝わる伝え方を知らせ、小集団の中でまずは支援員に伝えられるようにしていきます。 ･絵カードを使用して名詞や動詞などの語彙数が増えるようなクイズをしたり、しりとりなどの言葉遊びをしたり、楽しみながら言葉に触れられる活動を取り入れます。	･困った時や要求がある時に相手に伝えることができるよう、相手に伝わる伝え方を知らせます。 ･就学に向けて、文字の読み書きが少しずつできるようになることで自信につながるよう、自分の名前の文字を知ることから始め、個々の発達に合わせ段階的に文字の読み書きの課題を提供します。
人間関係 社会性	･簡単なルールを知る機会が持てるよう、正しいことや今できることは〇、絶対にしてはいけないことや今できないことは×など、〇×の絵カードを必要に応じて掲示します。 ･対人関係の構築の第一歩として、一人ひとりの興味に合わせた玩具を使ったり手遊びをしたりすることで、模倣を促していきます。	･気持ちの切り替えをする経験が積めるように、写真や絵カードを使用しスケジュールの見通しを持てるように伝えます。 ･お友達と関わる機会を持てるよう、簡単なルールのある集団遊びを提供します。見本や絵カードを使用してわかりやすくルールを伝えることで、集団遊びへの参加を促します。	･集団で過ごす時のルールを知ることができるよう、SSTカードなどを使用し「こんな時どうする？」ということを考える課題を取り入れます。個別課題で考えたことをプレイルーム遊びの小集団の中で実践し、般化できるような機会を作ります。相談して遊びやルールを決める活動を取り入れ、お友達と仲良く遊ぶためのルールを考える機会を作ります。

児童発達支援　その他



【本人支援】

	りす（未就園）くらす	ひまわり(ことばの療育）くらす	たんぽぽ（お絵描き）くらす
健康 生活	・衣服、靴下の着脱や道具を使った食事、手洗い、来所・降所準備（かばんからタオルなどを出す）等の基本的生活動作の練習の場を提供します。 ・座る、道具を使うなど簡単な食事のマナーを知るために、おやつやお弁当を食べる機会を作ります。	・清潔にする意味を知り、屋外から室内に入った時、手が汚れた時など、必要な時に手洗いをする習慣が身につくよう、声をかけていきます。	・就学に向けて自分で身だしなみを整える、物の準備や片付けをする、ハンカチで手を拭く等の、集団生活に必要なスキルの習得を目指します。 ・手洗いうがいをする、机が汚れたら拭く等の習慣が身につくよう、清潔にすることの必要性を伝えながら練習の機会を作ります。
運動 感覚	・手先の操作の巧緻性を高めるために、個別課題の中で手先を使う課題を個々の発達に合わせて提供します。 ・視覚、聴覚、触覚等の感覚を十分に活用できるようスライムや粘土などの感覚遊びや外遊び、水遊びなどの活動を提供します。	・姿勢の保持、椅子に座って取り組むことに慣れるよう、活動の時間を設定して取り組みます。 	・就学に向けて椅子に座って取り組むことに慣れるよう、活動の時間を20分程度設定して取り組みます。
認知 行動	・幼稚園等への就園（大きな集団への参加）に向けて、小集団の中で「ちょうだい」「おいで」などの簡単な指示を理解しジェスチャーできるように支援していきます。 ・自己選択ができるよう、活動の中で写真カード等を使用しながら、選択肢の中から自分でしたいことを決める機会を作ります。	・数量や形の大きさ、重さ、色の違い、比較などの概念の習得を目指して、教材を使って遊びながらさまざまな概念を知ることができるように取り組みます。また、時計などを使用して時間の概念について伝える取り組みをします。	・色や形、数量や比較などの概念を習得できるよう、ブロックなどを使い、楽しみながらさまざまな概念に触れられるよう取り組みます。また、時計などを使用して時間の区切りを知らせることで、時間の概念について伝える取り組みをします。
言語 コミュニケーション	・指さしやジェスチャー等を使用し、欲しいものやしてほしいことなどの要求を伝える経験ができるように取り組みます。 ・絵カード等を使用して名詞や動詞などの語彙数が増えるような活動を行い、楽しみながら言葉に触れられる機会を作ります。	・簡単な要求やヘルプを伝える経験をし、日常生活で汎化できるように取り組みます。 ・絵カード等を使用して名詞や動詞などの語彙数を増やし、楽しみながら言葉の幅が広がるように支援していきます。 ・支援員が子どもの言葉を代弁をして伝えて、言葉の使い方を知る機会を作ります。	・困った時や手伝ってほしい時に相手に伝えることができるよう、相手に伝わる伝え方を伝え、使えるような取り組みをしていきます。
人間関係 社会性	・安心できる環境の中で、できたことをほめられる経験を積むことで、身近な支援員と安定した関係性を築けるような取り組みをします。 ・対人関係の構築の第一歩として、一人ひとりの興味に合わせた玩具を使ったり手遊びをしたりすることで、模倣を促していきます。	・小学校での生活を想定し、どっちがかっこいいや簡単なルールのある遊びを通して、社会生活におけるルールを知ることができるように取り組みます。	・就学に向けて簡単なマナーが身につくよう、初めと終わりには講師の方に挨拶をする、説明を最後まで聞いてから始めるということを繰り返し行います。また道具を大切に扱う、使ったものは元の所に戻すということが習慣付くよう取り組みます。